

降水量の少ない季節を迎えています。今ある水を大切に使いましょう!!

現在の渇水状況

7月25日から始まった香川用水への取水制限も、11月1日で100日(一時解除の日数も含む)となり、平成6年に次いで2番目に長い取水制限になっています。

この間、8月31日から9月19日にかけて早明浦ダムの貯水率が0%になるなど、本市の水事情は極めて厳しい状況に陥りましたが、発電用水の緊急放流や自己処理水源の確保、そして市民皆さまの節水へのご協力により、当面の断水危機は回避することができました。

また、9月・10月の降雨による早明浦ダムと自己処理水源の貯水率回復や、農業用水の需要が無くなったことによる取水制限内容の変更などを受けて、現在の渇水対応は、下記のとおり変更しています。

現在の主な渇水対応

- 【水圧の調整】
旧市内の平均水圧を200キロパスカルに減圧(通常時より25.9%減圧)
- 【雑用水の利用】
「公共の井戸」の利用
「下水再生水」の利用
- 【渇水対策補助事業】
保健所での井戸水検査の手数料減額(2分の1)
中小企業向け設備・運転資金融資(11月28日まで)
お問い合わせ先:商工労政課
TEL:839-2411)

今後の渇水対応

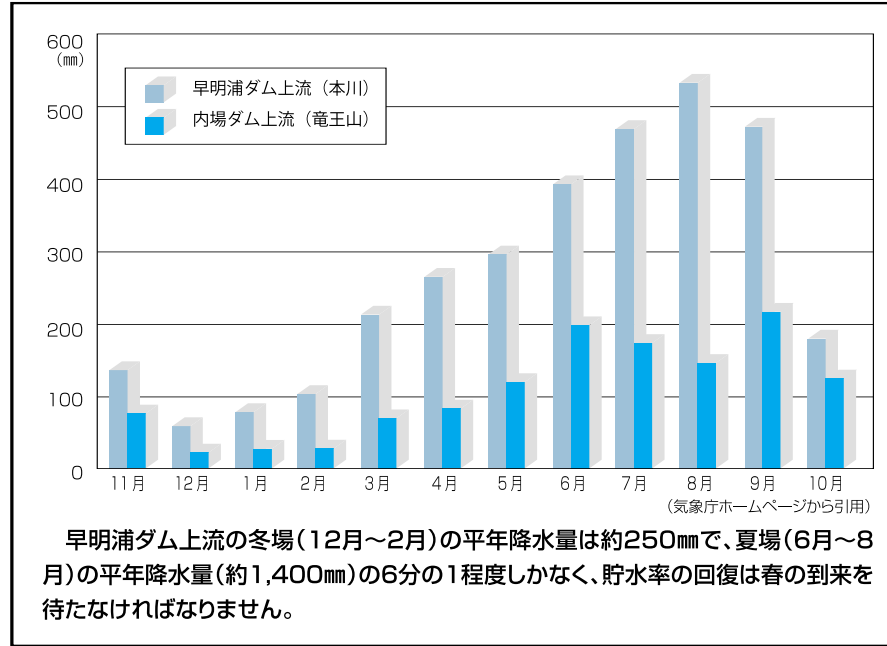
しかし、早明浦ダムの貯水率は依然として厳しい状況にあり、また、降水量の少ない季節に入り、貯水率の回復が期待できないなど、渇水は長期化する恐れがあります。さらに、貯水率が低い状態で春を迎えると、配水量の増加や農業用水の需要などにより、平成19年度のように、水事情が急激に悪化する恐れもあるため、来年度の水需要を見据えた、長期的な対策を講じる必要があります。

このため、旧市内地域を中心とした水圧の調整や市民皆さまへの節水広報などの配水量削減を目的とした渇水対応は、渇水の長期化に備えてこのまま継続したいと考えています。

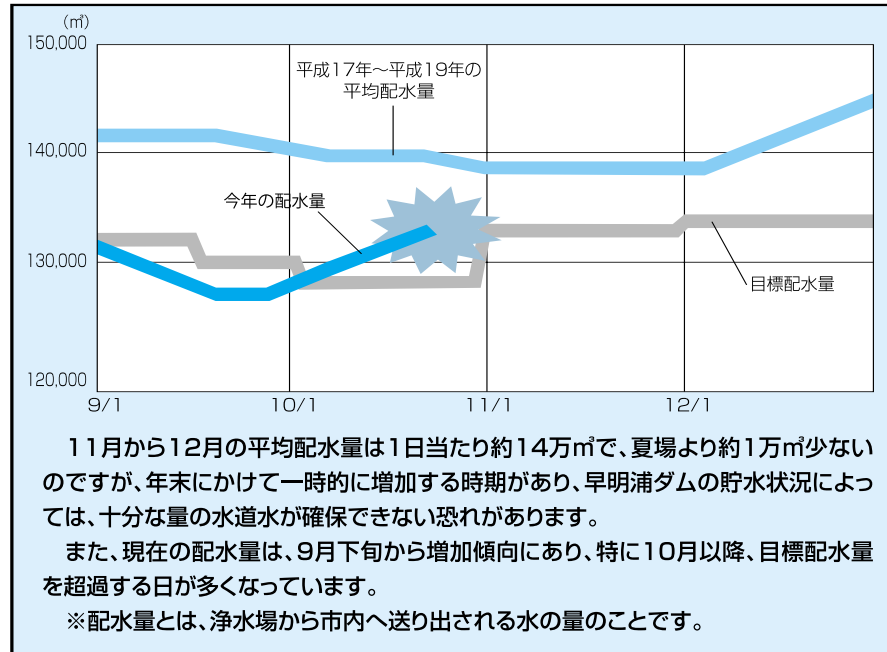
市民の皆さまには大変ご不便をお掛けしますが、引き続き節水にご協力いただきますようお願いいたします。

市民の皆さまとの協働で、現在の渇水対応を強化することなく、渇水を乗り切りたいと考えています。
目標配水量の達成にご協力をお願いします!!

●早明浦ダム上流(本川)と内場ダム上流(竜王山)の年間降水量



●平成17年~平成19年の平均配水量と今年の配水量(塩江町除く)



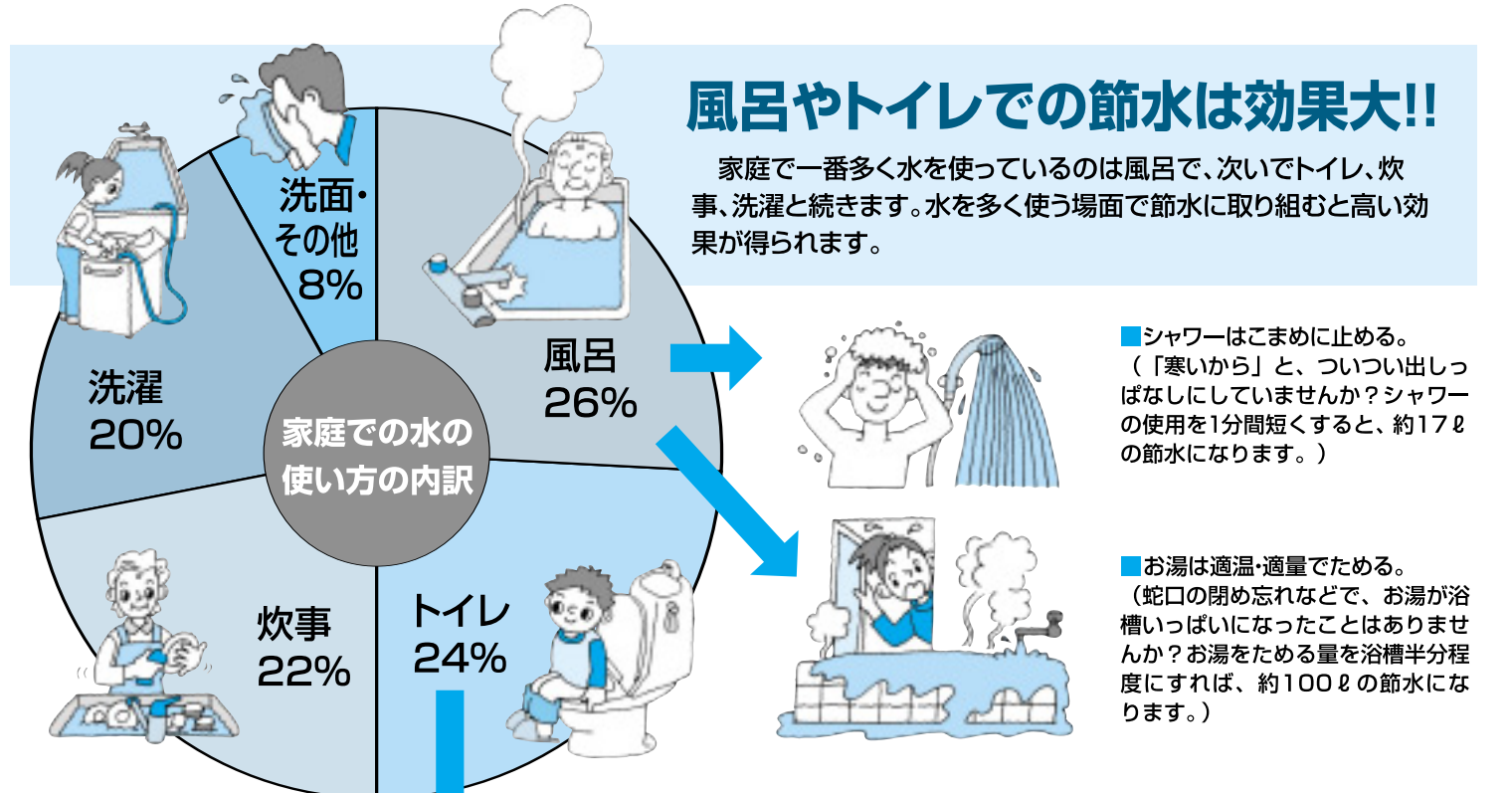
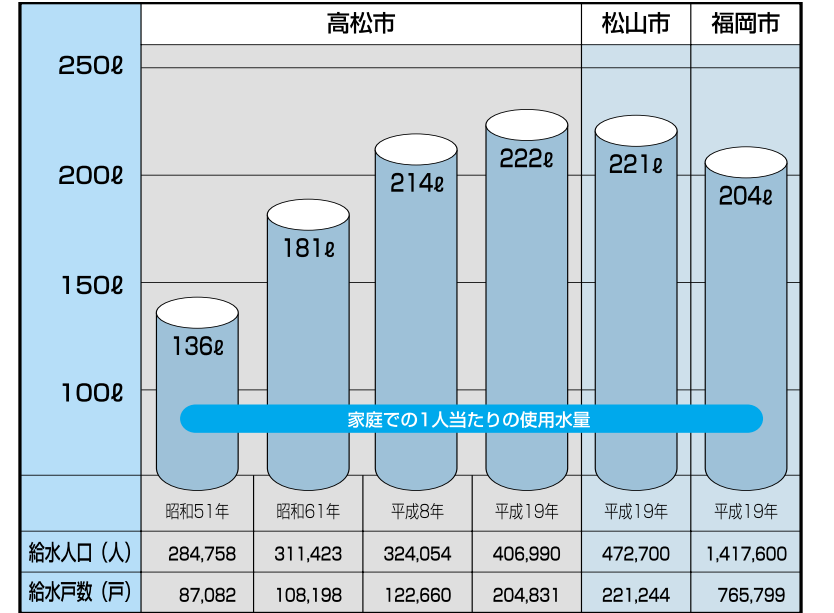
意識を持つことが節水の第一歩!!

高松市内で1日に使われる水の量は、平均で約14万m³(平成19年度)で、このうちの約7割は、皆様のご家庭で使われています。

また、高松市内の家庭で1人が1日に使う水の量は、昭和51年には136ℓだったものが、平成19年には222ℓまで増えています。

今回の渇水を乗り切るために、また、水を大切に使う循環型都市を目指すためにも、まずは水の使い方無駄が無いかどうかを意識することが節水につながり、そのうえで、ライフスタイルに合った節水方法を取り入れれば、確実に水の使用量を減らすことができます。

●節水型街づくりを進めている都市との家庭での1人当たりの使用水量の比較



最新の渇水情報は

高松市ホームページ【もっと高松】

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/8101.html>

高松市渇水情報

検索

高松市携帯電話サイト【もっと高松 NAVI】

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/i/>

「新着情報」の「渇水情報」をご覧ください。



高松市渇水対策本部(水道局お客さまセンター) TEL:839-2731

で確認ください。